

図1：A短大の学科別進学動機

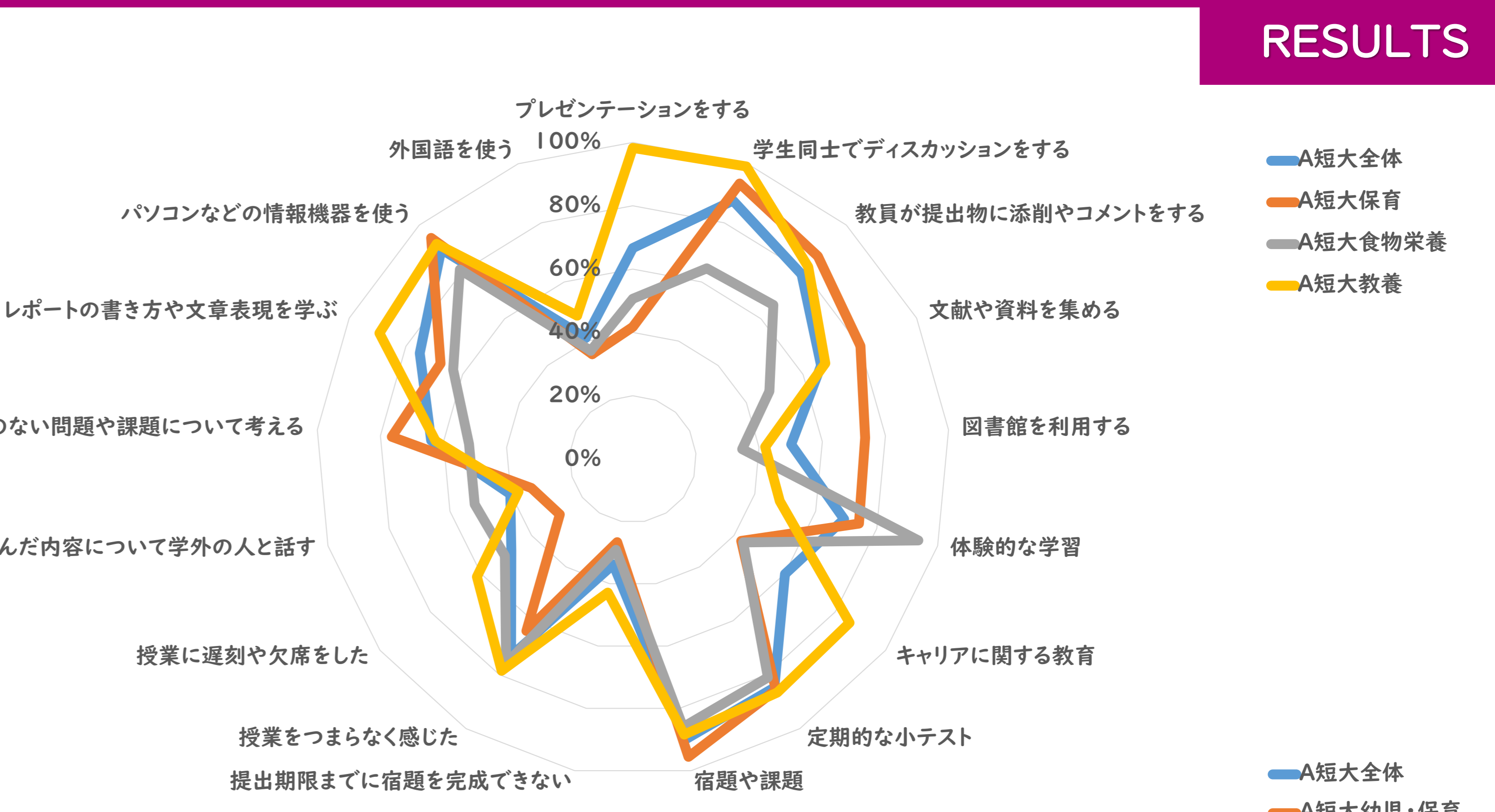


図2：A短大の学科別学習経験

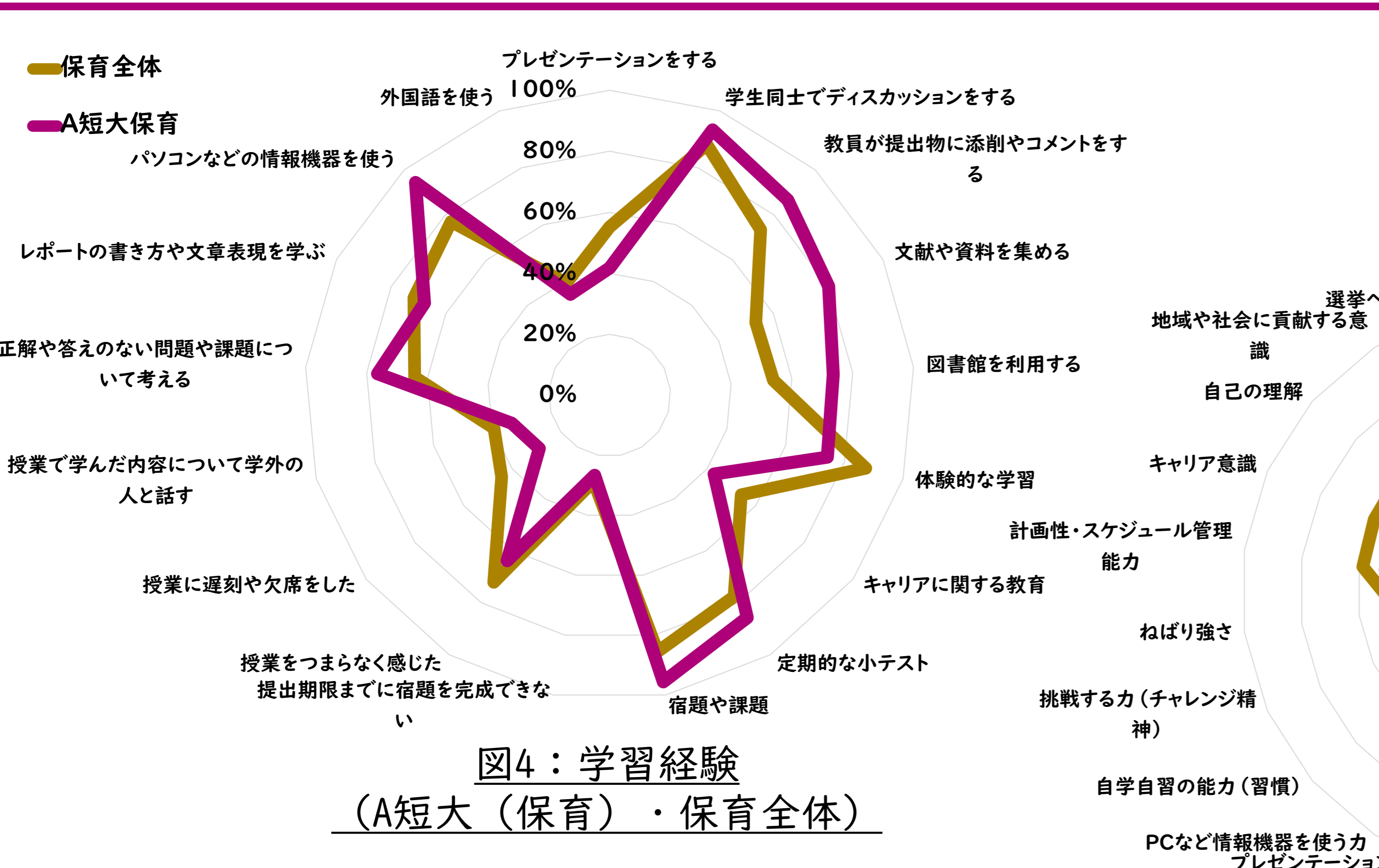


図4：学習経験 (A短大(保育)・保育全体)

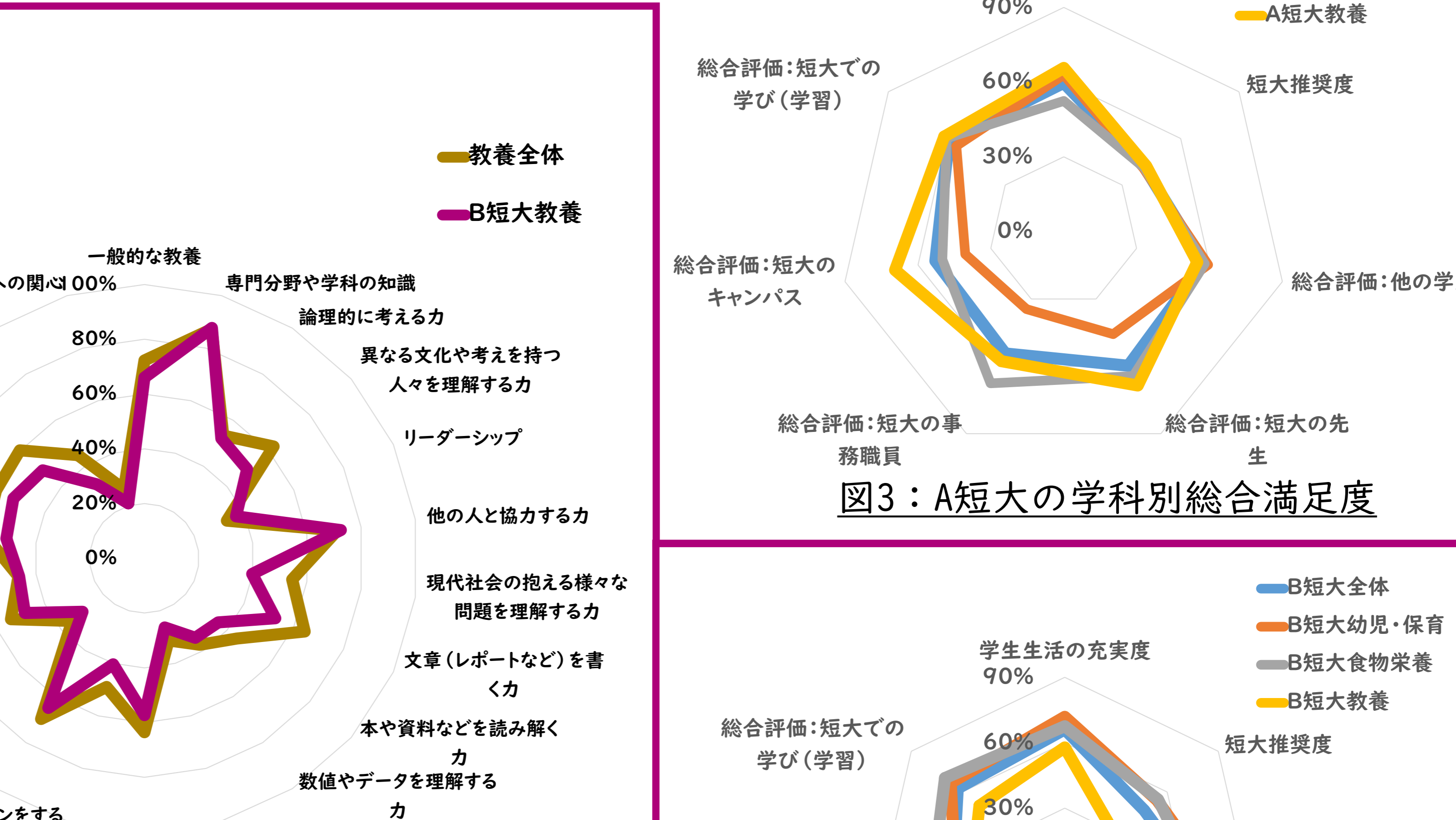


図5：学習成果 (B短大(教養)・教養全体)

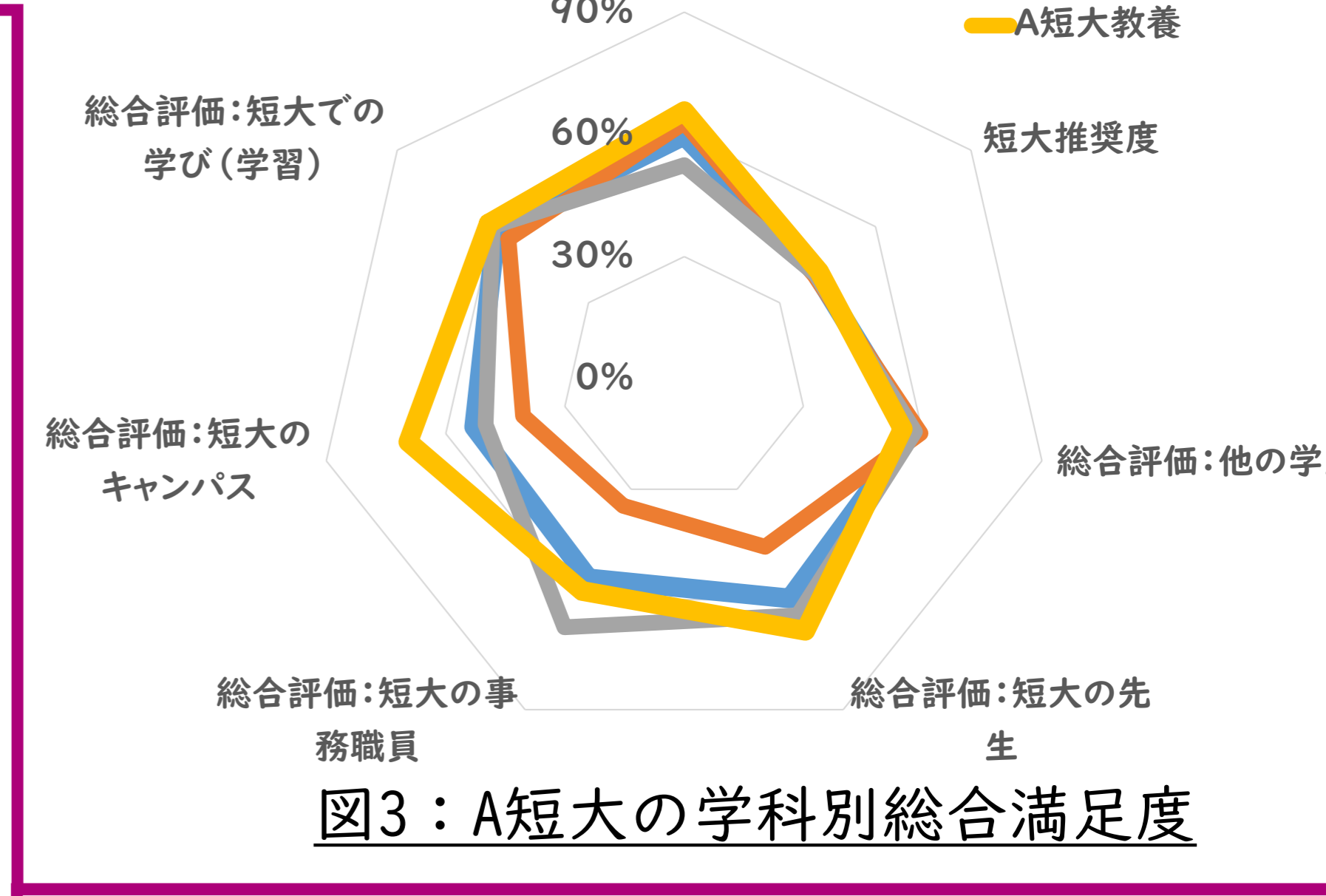


図3：A短大の学科別総合満足度

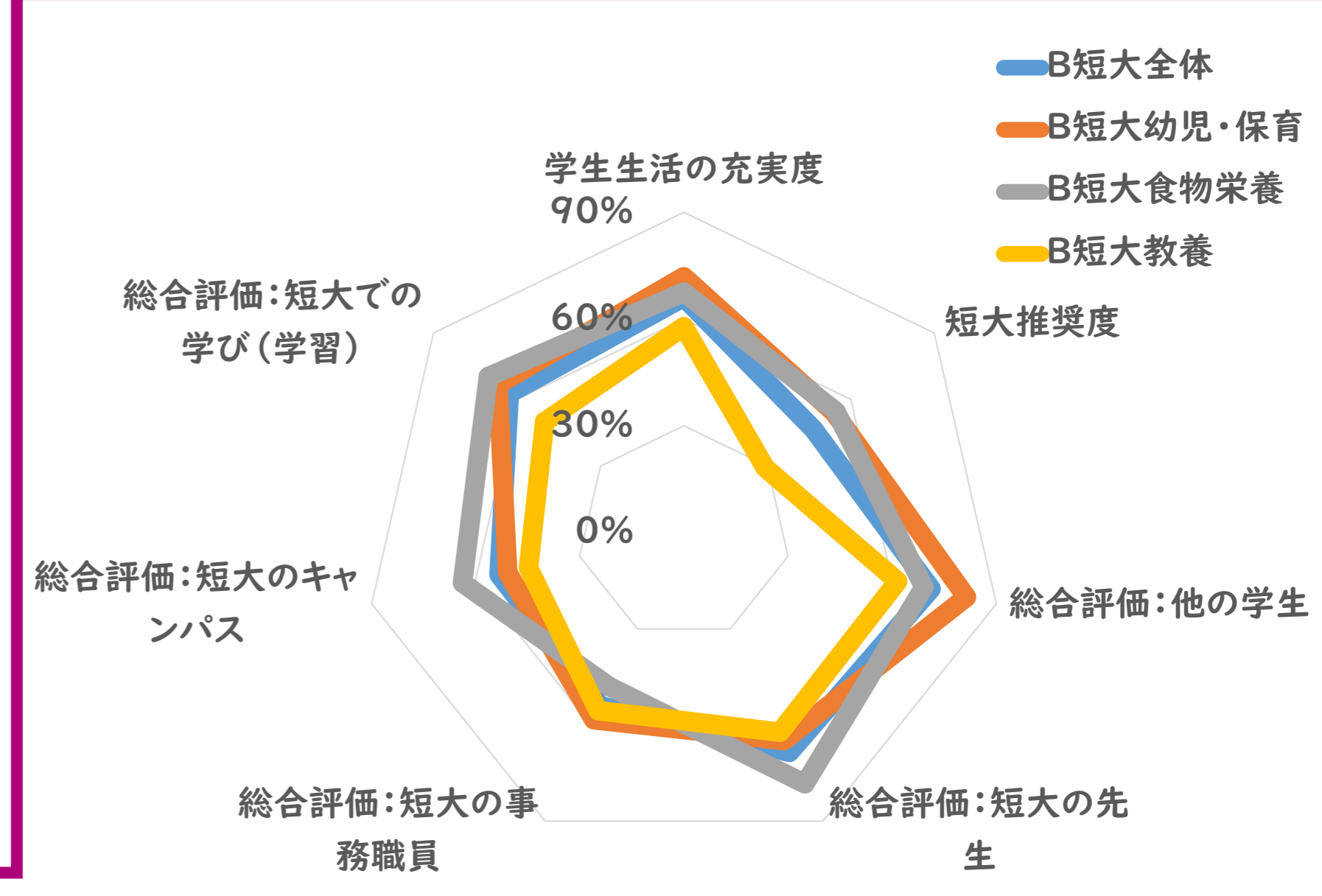


図8：B短大の学科別総合満足度

短期大学生調査を用いたベンチマークの在り方について—複数学科を有する短期大学における学内外との比較方法の検討—

○宮里翔大(桜美林大学大学院) ○堺完(大分大学) 黄海玉(短期大学基準協会) 山崎慎一(桜美林大学)

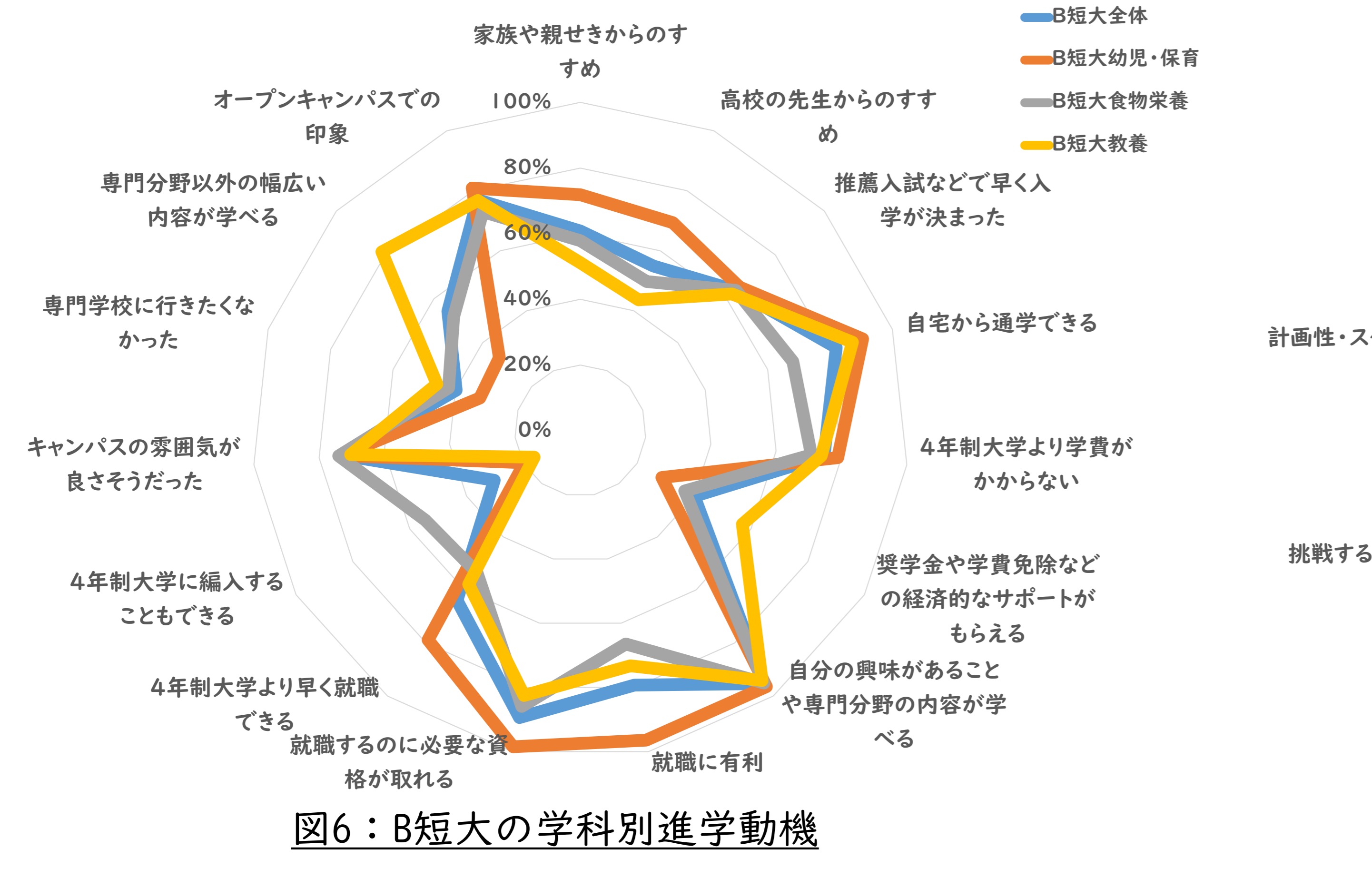


図6：B短大の学科別進学動機

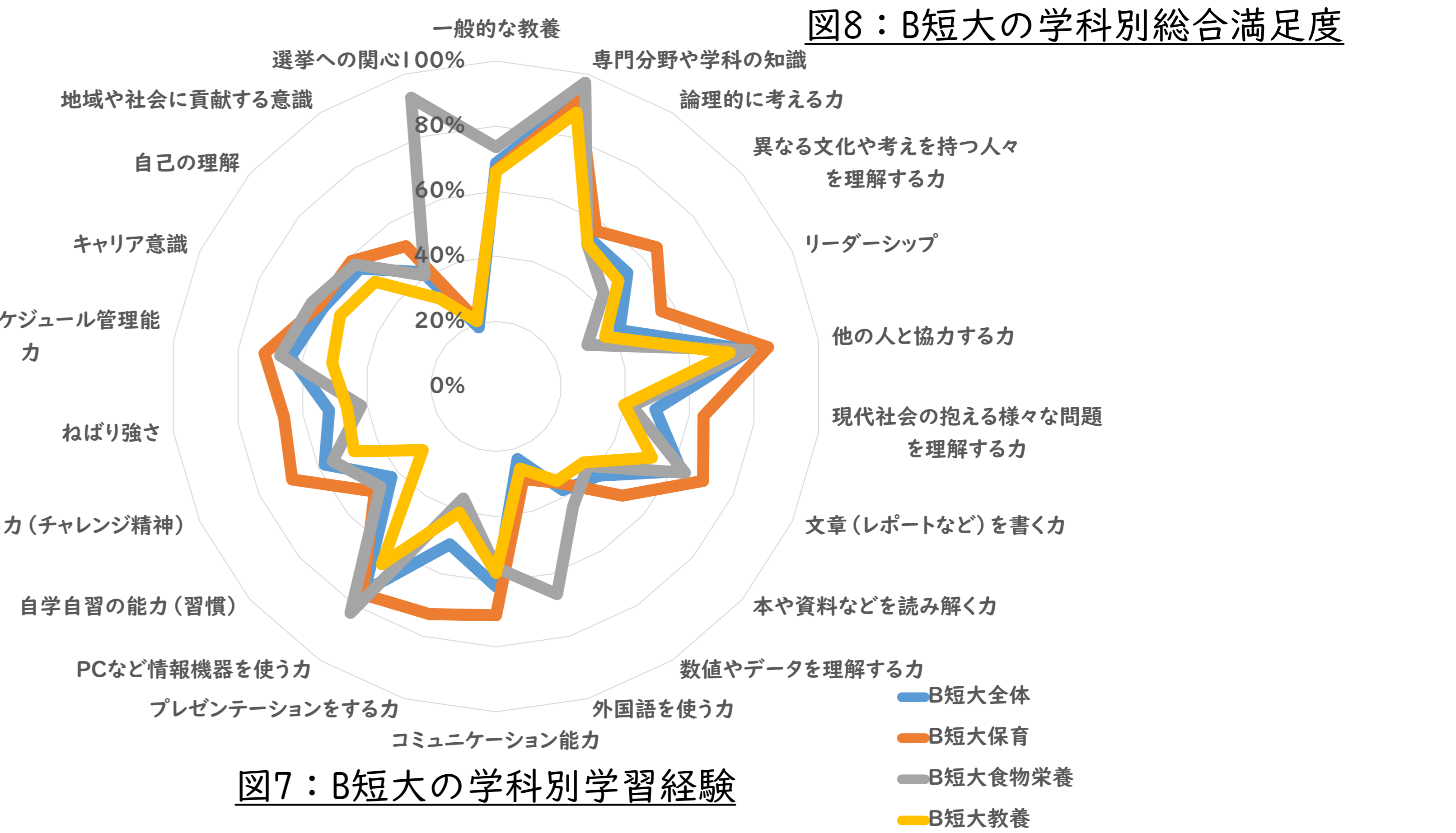


図7：B短大の学科別学習経験

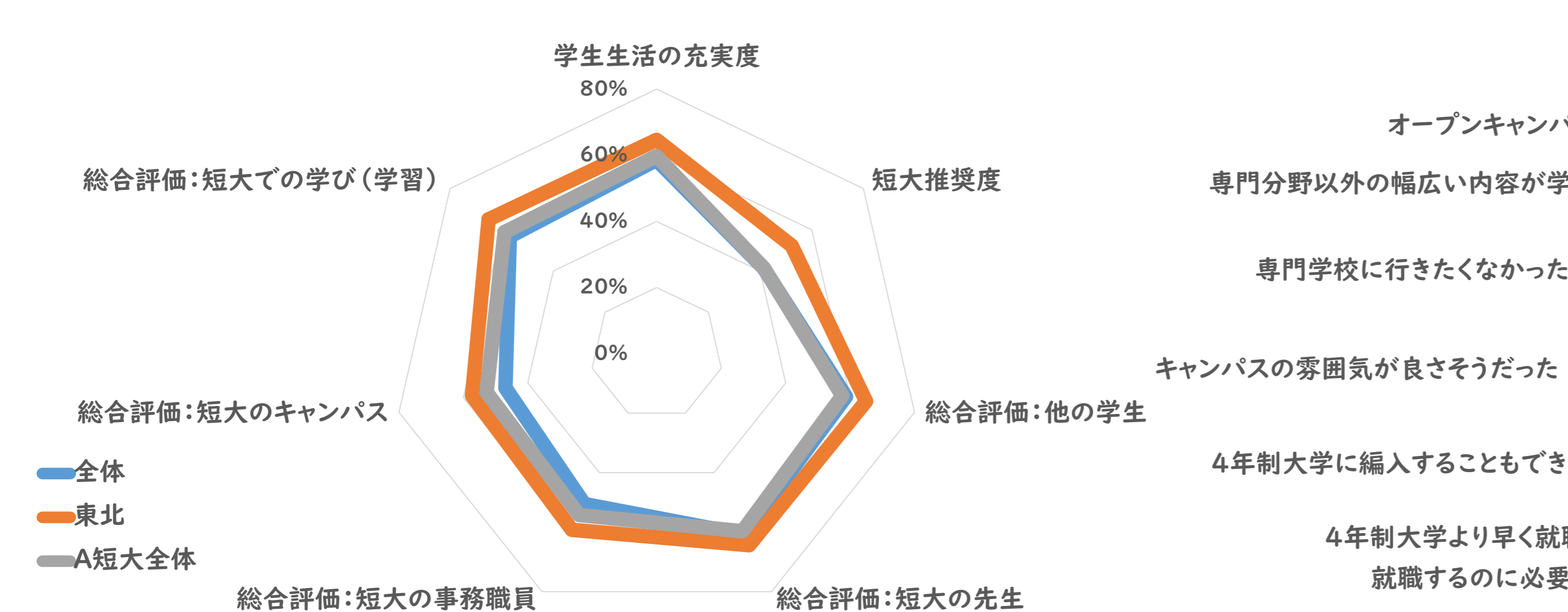


図8：総合満足度(全体・東北・A短大)

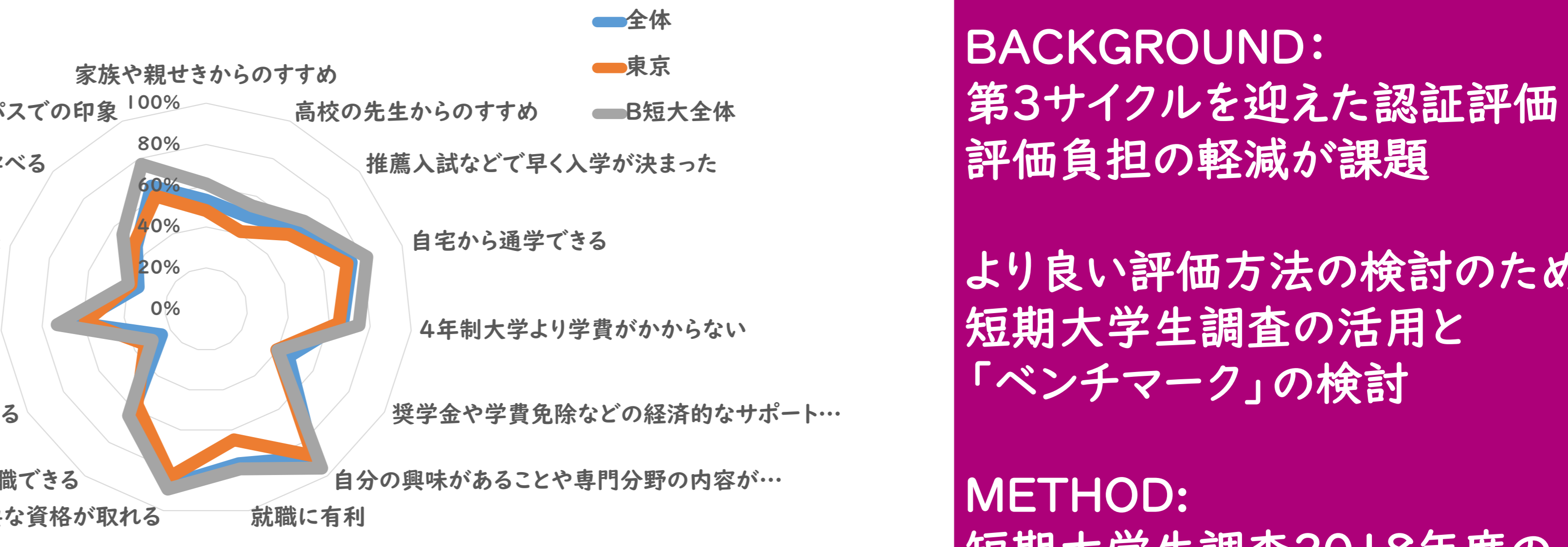


図10：進学動機(全体・東京・B短大)

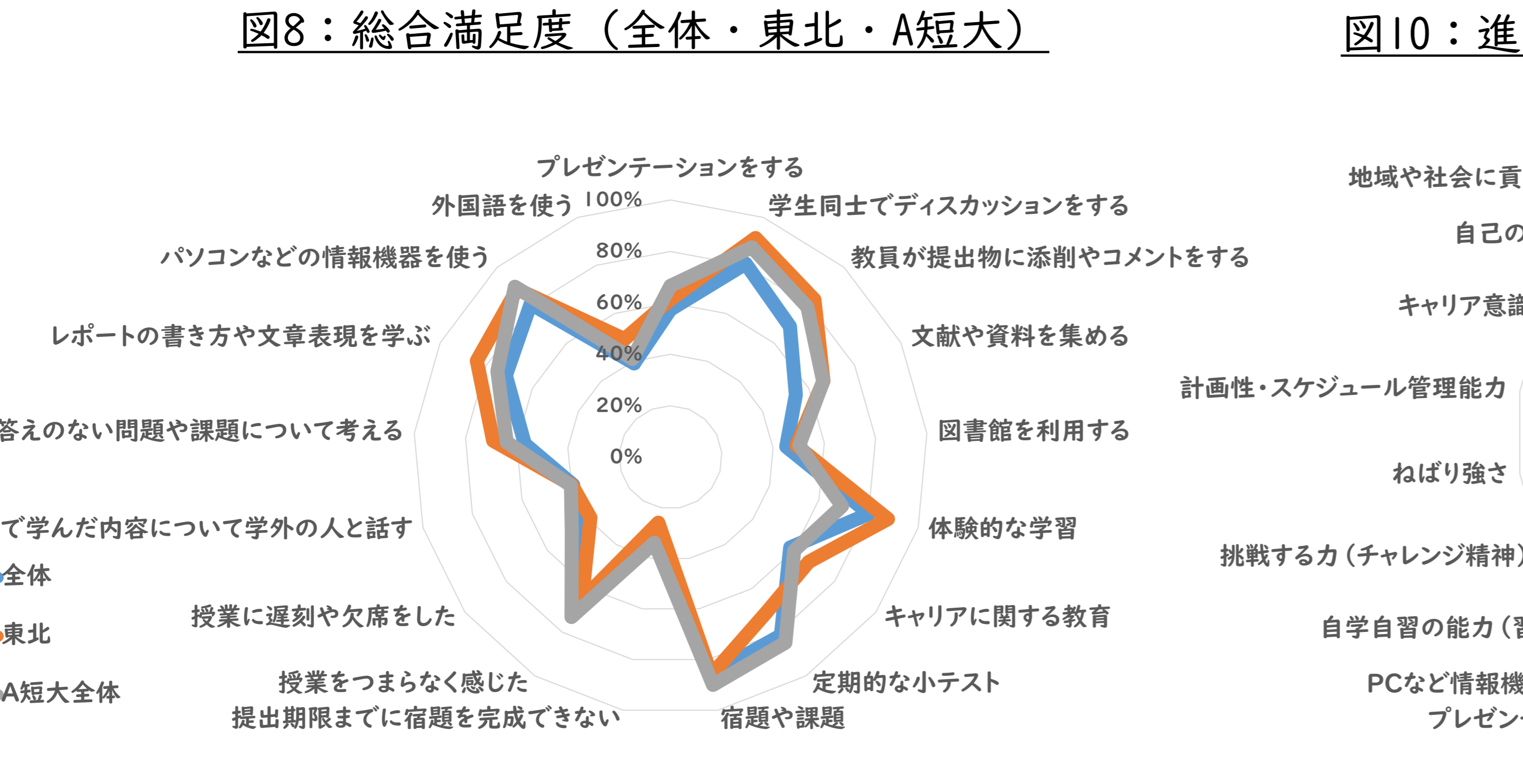


図9：学習経験(全体・東北・A短大)

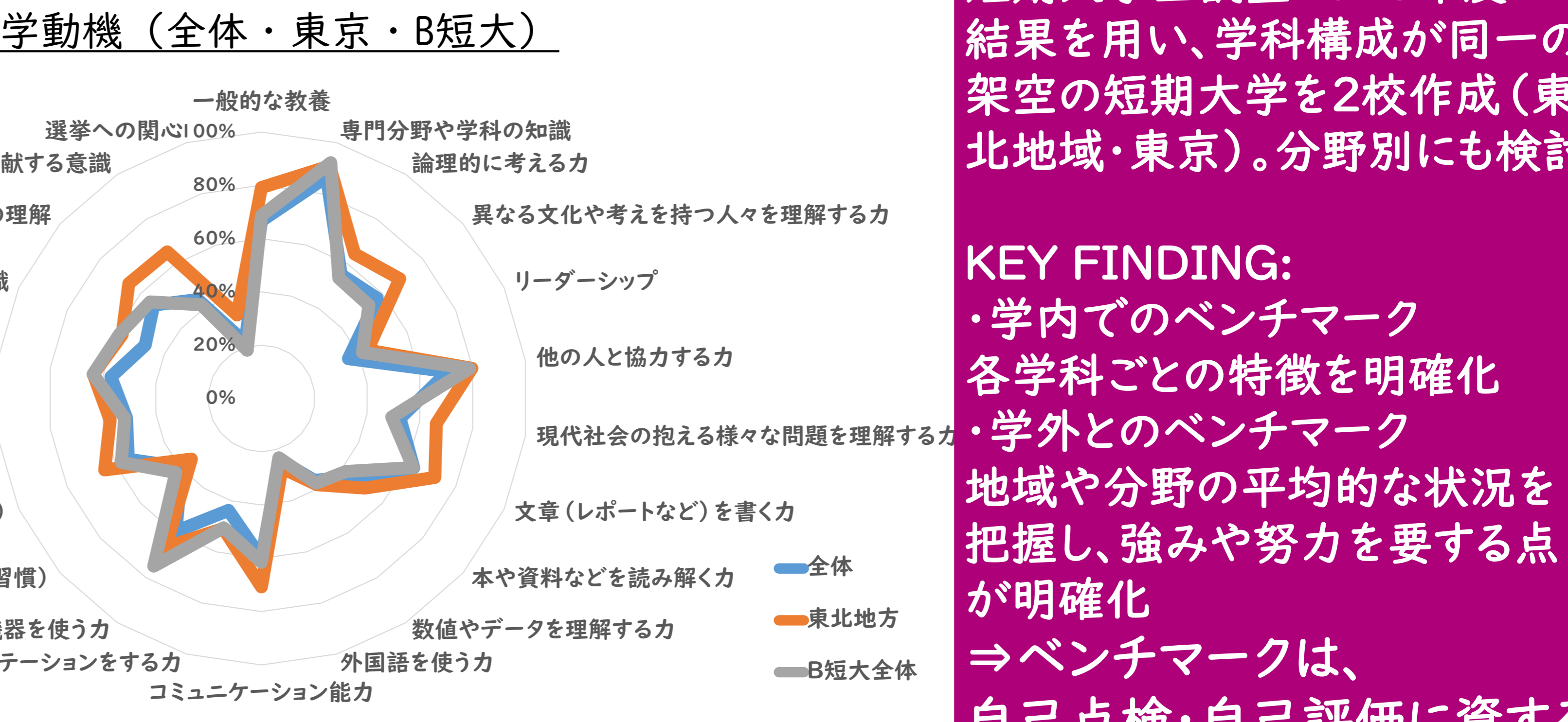


図11：学習成果(全体・東北・B短大)

BACKGROUND: 第3サイクルを迎えた認証評価 評価負担の軽減が課題

より良い評価方法の検討のため 短期大学生調査の活用と 「ベンチマーク」の検討

METHOD: 短期大学生調査2018年度の 結果を用い、学科構成が同一の 架空の短期大学を2校作成(東北地域・東京)。分野別にも検討

KEY FINDING: ・学内でのベンチマーク 各学科ごとの特徴を明確化 ・学外とのベンチマーク 地域や分野の平均的な状況を把握し、強みや努力を要する点が明確化 ⇒ベンチマークは、自己点検・自己評価に資する